



津山市農業士協議会 会長
三谷 智子さん (山方)

酪農のほか、肉用牛の繁殖や野菜の栽培など農畜産業を幅広く手掛ける。平成元年に女性18人で設立した「津山市婦人農業士協議会」(旧称)に参加。地域農業の発展を目指す農業士として20年以上在籍し、平成28年度から津山市農業士協議会会長に就任。岡山県農業士、津山市農業委員などの要職も兼任している。64歳



酪農家になるきっかけは？

嫁いだ先が酪農を営んでいました。最初は夫の手伝い程度でしたが、やっていくうちに楽しくなりました。

酪農の魅力は？

牛から搾った牛乳を、安全・安心な品質で消費者に届け、おいしいと言ってもらえることに魅力を感じています。毎日、朝と夕方に搾乳するのは大変ですが、より良い品質の牛乳を生産したいと思いながら続けています。

乳牛は子牛を産まないとは搾乳できないので、出産も立ち会います。生まれた子牛はとても可愛いですよ。

酪農の大変さは？

良質な牛乳を出すため、牛の健康管理が重要で気が抜けません。家族で役割分担をし、助け合うことで経営が成り立っていると感じています。

農業士の会長として感じていることは？

専業農家が減少しているため、農業士も減っています。このままでは、津山の農業が衰退するのではと心配しています。わたしの体が動くうちは、どんなことでもやろうと思い、農業士が集まる会合や研修では、積極的に意見交換をして、津山の農業が発展するよう模索しています。

津山の皆さんにメッセージを

今後もおいしい牛乳を提供したいです。また、乳牛から出る牛ふんを堆肥にして使う有機・減農薬農業にも力を入れていきたいです。津山で少なくなりつつある酪農業を少しでも長く続け、津山の魅力ある農畜産業を継承していきたいです。



▲牛舎で乳牛の世話をする三谷さん



▲6月に行われた津山市農業士役員会で話し合う三谷さん

つばやき編集室、広報紙の担当になる前は「一度書いてみたい」と憧れていたもので、毎月書くのが不思議な感覚です。夢は現実なのか、現実が夢なのか…。偉人の言葉を調べると、ギリシアの悲劇作家や中国の詩人、日本の武将が「現実とは夢である」と残しています。最近、物忘れが増えたのは、現実？ 夢？ (三)

給食に関わる皆さんを取材。それぞれ違う立場で安全な給食を届けるため、厳しい条件と向き合われています。共通したのは、子どもたちにおいしいものを食べてほしいという真っすぐな気持ちとすてきな笑顔！ 知らなかつた話もたくさん聞き、紙面ではほんの一部しか紹介できないのもったいないです。(三)

今月号は「市からのお知らせ」のコーナーデザインを変更してみました。皆さん気付かれたでしょうか。「読みやすくなった」または「読みにくくなった」など、ご意見をいただけたら励みになります。ご意見の送付方法は27ページに掲載しています。皆さんの「声」をもとに、より良い広報を作っていきます。(三)



編集・発行
津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)
〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、環境保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後はおリサイクル(資源)にご協力ください

☆津山市公式Instagram
https://www.instagram.com/tsuyama_city/



☆広報津山電子版
https://www.city.tsuyama.lg.jp/



☆津山市公式Facebook
https://www.facebook.com/city.tsuyamakouhou

